

子育て支援の世田谷をめざして、質問しました

保育所建設の前倒しを！

ほっとステイ拡充を！

産後ケアの拡充を！



3月16日（金）、区議会予算特別委員会で、江口 じゅん子区議は保育待機児解消、在宅子育て支援、産後ケアベットの拡充を求め、質問しました。以下、概要を報告します。

**4月に保育所に入れない
子どもたちの対策として、
新年度で保育所建設
2000人分の確実な実施を！
また年度途中の保育所開設
前倒しを！**

今年の認可保育園入園申込者 6175 人のうち1次選考で約 3400 人が入園不可となりました。2次選考も終わりましたが、昨年以上に待機児がうまれる深刻な事態です。

江口区議は、入園選考にもれて、育休を1年延長するママの声を紹介。（下記ふきだし）

1年、育休を延長すると無給になり、生活設計が大きく狂う。保活が続くと思うと気が滅入る。

4月に、保育所に入れなかった子どもたちの対策として、新年度 2000 人分の保育所整備に全力をあげること、年度途中の保育所開設の前倒しを強く求めました。

区は「一人でも多くの方が保育施設を利用できるよう、全力で取り組む」と答弁しました。



**在宅子育て支援
ほっとステイの拡充を！
区は「充実に努めていく」
と答弁**

「美容院に行きたい」等理由を問わず、乳幼児の一時預かりを行うほっとステイは区内7か所で実施、料金は2時間で1,250円。区の実施事業という安心感があり、需要が大きくなっています。

しかし、区民の方から「予約が混み合っていて希望する日に予約が取れない。」という声が寄せられています。

江口区議は、在宅子育て支援策として、ほっとステイ拡充を行求めました。

区は、「一時預かりなどの充実に努めてまいります」と答弁しました。

**民間助産所の活用や
「訪問型」を導入し、
産後ケアの拡充を**

産後、助産師から母体や育児について、ケアを受けられる桜新町の「産後ケアセンター」。申込者数が増加し、希望者全てを受け入れられません。

江口区議は、民間助産所活用や「訪問型」産後ケアの導入を求めました。

日本共産党・区議会議員

江口じゅん子の区政報告 2015年3・4月号外



こんにちは 江口じゅん子です



フェイスブック始めました

メール eguchi@jcp-setagaya.jp

連絡先 世田谷区世田谷4-21-27 区議団控室 TEL5432-2791 FAX3412-7480